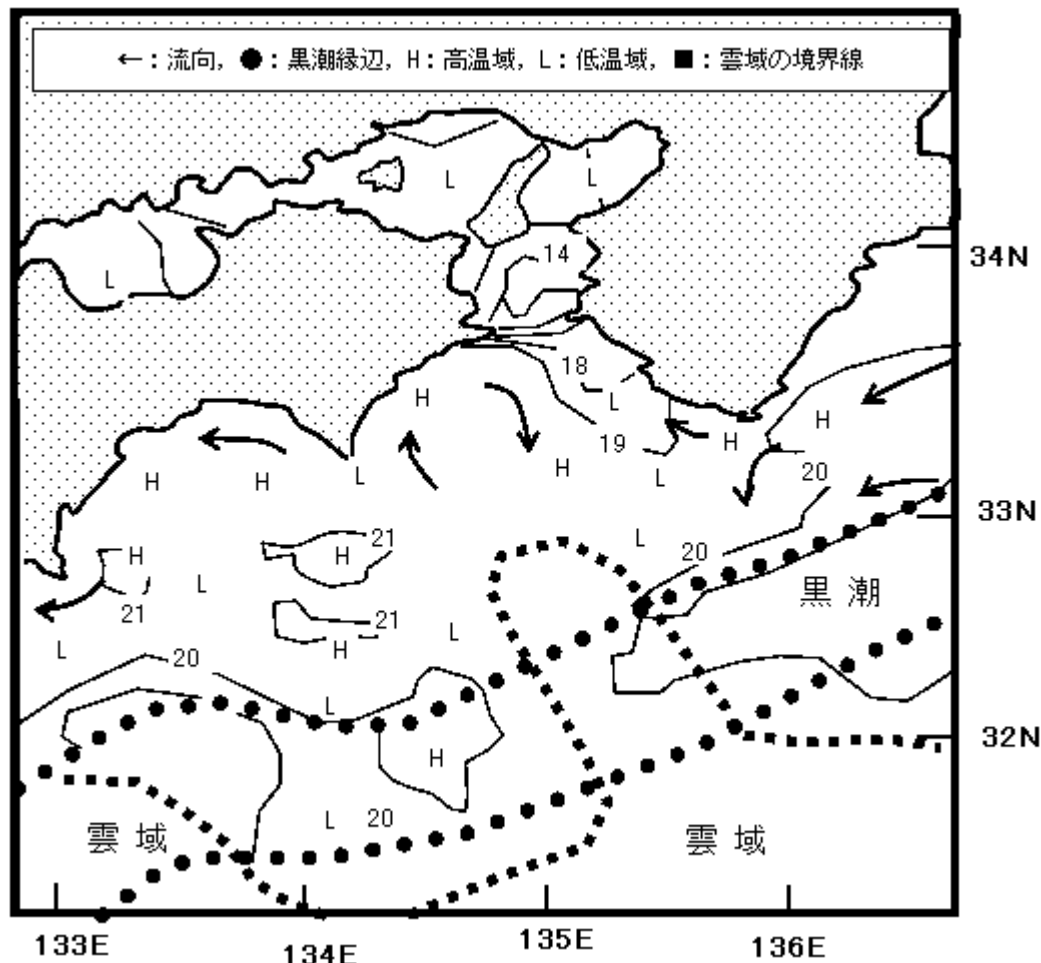


1. 海況の経過

1) 黒潮

小蛇行が潮岬沖を通過しているため、九州東岸～足摺岬～土佐湾～室戸岬南沖～紀伊水道沖で大きく離岸した後、潮岬で離岸して流れている。表面水温は21℃前後。



2) 海況

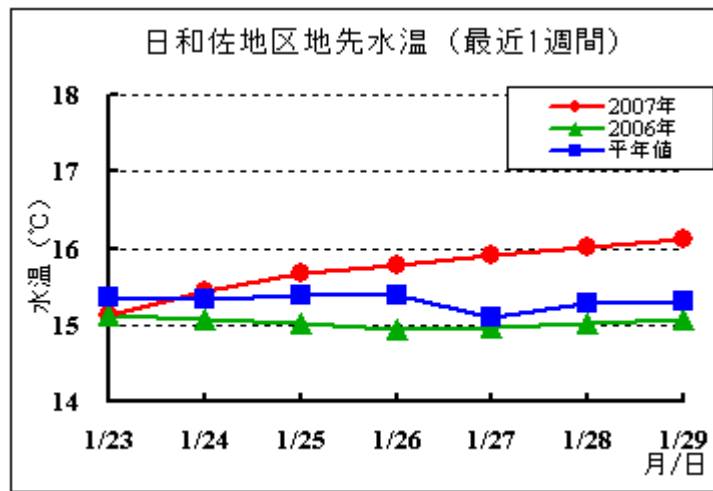
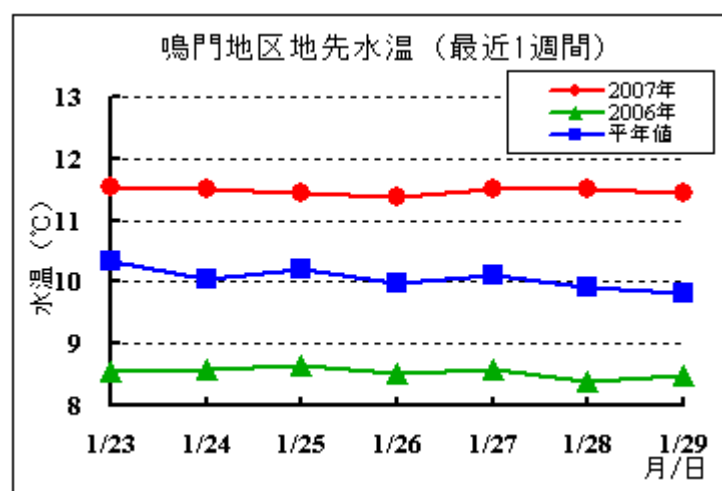
上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.1.25～26)を示した。

表面水温は播磨灘が11～12℃、紀伊水道内部が12～17℃、水道外部は17～20℃である。

紀伊水道外域において室戸岬から時計回りに19～20℃の黒潮系暖水が強く流入している。それに伴い和歌山県側で16～19℃の低水温域が南下している。

3) 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の11.4～11.5℃で、日和佐地区が「平年並み」～「やや高め」の15.1～16.1℃で、牟岐地区は「高め」の17.0～17.4℃で推移した。



2. 漁況の経過

現在、漁獲情報集計システム更新作業のため3漁協の漁獲データのみ掲載しております。

延縄:海部沿岸で、サバフグが1.0トン(1日1隻あたり22kg)、大、中主体にアマダイが0.3トン(同16kg)、トラフグが0.1トン(同4kg)、紀伊水道でも、ママ主体にトラフグが0.1トン(同12kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、カワハギが0.2トン(同23kg)、アオリイカが0.2トン(同12kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.9トン(同6kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 1月18日～1月24日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	45	1,009	22	
		アマダイ	21	337	16	大、中主体
		トラフグ	22	90	4	
	紀伊水道	トラフグ	10	116	12	マメ主体
小型定置網	海部沿岸	カワハギ	10	228	23	
		アオリイカ	15	179	12	
釣り		アオリイカ	133	862	6	大主体

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬沖とも「かなり離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の11～12℃、日和佐地先で「やや高め」の15～16℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のパッチ網でシラスが9.6トン(同128kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、さば類が1.0トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上